NEWS RELEASE

新生銀行グループ

2021 年 3 月 15 日

各 位

新生企業投資株式会社
代表取締役社長 松原 一平

株式会社ファーメンステーションへの投資実行について

当社は、当社の関連ファンドにおいて、株式会社ファーメンステーション（東京都墨田区、代表取締役 酒井 里奈）に対し、ESG 投資※1の一環として出資を行いましたのでお知らせします。

ファーメンステーションは、「発酵で楽しい社会を（Fermenting a Renewable Society）！」をミッションに、独自の発酵技術で未利用資源を活用し、循環型社会を構築する研究開発型スタートアップです。2019 年には、経済産業省が推進する J-Startup に採択され、サーキュラー・エコノミーへの取り組みで先行するスタートアップとして注目されています。

ファーメンステーションでは、岩手県奥州市に研究開発拠点兼自社工場（奥州ラボ）を持ち、独自の発酵・蒸留技術で、サステナブルなエタノールや化粧品原料などを開発・製造しています。化粧品メーカー・原料卸に販売する原料事業、自社ブランドによるオーガニック化粧品事業のほか、原料提案から製品開発まで一貫して引き受ける ODM/OEM 事業を行っています。また、エタノールの製造過程で生成される発酵粕を、化粧品原料や地域の鶏や牛の飼料として利用し、鶏糞を水田や畑の肥料にするなど、廃棄物ゼロの循環型モデルを構築しています。さらに、食品・飲料工場の製造過程等で出る副産物・食品残渣などの未利用資源を活用しアップサイクル※2することで、新たな高付加価値の商品を生み出す事業開発にも、大企業との共創を通じて取り組んでいます。

昨今、サステナブルな事業創造は、企業が取り組むべき喫緊の課題として認知されています。化粧品やライフスタイル製品の市場においても、“体に安心安全で環境に良いもの”を選びたい消費者ニーズの高まり・購買行動の変化が加速しています。ファーメンステーションは、創業以来一貫して、原料の由来の明確化（完全なトレーサビリティ）や天然由来 100%で厳格なオーガニック（国内で唯一、国際的な有機認証機関であるエコサート認証等の米エタノールを開発・製造）にこだわり、社会潮流の変化を先取りした商品開発を進めてきました。

新生銀行グループでは、サステナビリティを経営の軸に据え、社会課題の解決に資するビジネスに注力しながらグループの持続的な成長を目指しています。当社においても、環境にやさしい新素材開発に取り組むベンチャー企業への出資や、「子育て・介護・新しい働き方関連事業」を対象とするインパクト投資※3 ファンドの組成・運営など、ESG 投資に積極的に取り組んでいます。本投資を通じて、投資収益を期待するとともにファーメンステーションへの事業支援を含む成長サポートを行い、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1 「ESG 投資」とは、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の要素を考慮する投資手法。
※2 「アップサイクル」は、リユース（再利用）、リサイクル（再循環）と異なり、廃棄物や副産物など、従来不要と考えられたり有効活用されていないものを、様々なアイデアや手法でさらに価値の高いプロダクトに転換すること。
※3 「インパクト投資」とは、経済的なリターンと社会的なリターンの両立を目指す投資手法。

■ 株式会社ファーメンステーションの概要

名　　称	：	株式会社ファーメンステーション
設 立 日	：	2009 年 7 月
代 表 者	：	代表取締役 酒井 里奈
所 在 地	：	東京都墨田区横川 1-16-3 センターオブガレージ Room8
奥州ラボ所在地	：	岩手県奥州市前沢本杉 141-1
事 業 内 容	：	アルコール等の化粧品・雑貨・食品向け原料提供/開発、化粧品・雑貨 OEM/ODM、未利用資源を活用した事業共創、自社オーガニックブランド事業
資 本 金	：	1 億 3,871 万円

以　上

金融リ・デザイン
Redesigning Finance

お問い合わせ先
新生銀行　グループIR・広報部
下村、紀、風間
Shinsei_PR@shinseibank.com